

2025年度以降 カリキュラム・マップ (臨床工学科)

◎ :「中部大学で身につく汎用力」の育成に最も寄与するもの、ディプロマ・ポリシー(DP)と最も関連するものを示す

○ :「中部大学で身につく汎用力」の育成に寄与するもの、ディプロマ・ポリシー(DP)と関連するものを示す

科目 ナンバー	科目名	単位	時間数	必 ・ 選	配 当 学 年	開 講 学 期	中部大学で身につく汎用力													
							身につく基礎力 (注)		豊かな教養	専門的知識・技能	思考力	自立心	学び続ける能力	国際的な視野	多様性	協調性・協働性(公益心)	実行力			
LC336G01	医療関係法規	1	1	必	2	春	傾聴・受信力	クリティカル思考力	◎	○										
LC383C01	人工心肺装置学A(基礎・原理・操作方法)	2	2	必	3	春	傾聴・受信力	クリティカル思考力	◎	○										
LC383C02	人工心肺装置学B(心筋保護・補助循環・自己血回収)	1	1	必	3	春	傾聴・受信力	クリティカル思考力	◎	○										
LC383C03	人工心肺装置学実習	1	3	必	3	秋	課題設定力	クリティカル思考力		○										◎
LC382E01	血液浄化装置学A(血液透析・腹膜透析)	2	2	必	3	春	傾聴・受信力	クリティカル思考力	◎	○										
LC382E02	血液浄化装置学B(血漿交換・吸着療法)	1	1	必	3	春	傾聴・受信力	クリティカル思考力	◎	○										
LC382E03	血液浄化装置学実習	1	3	必	3	秋	課題設定力	クリティカル思考力		○										◎
LC382D01	人工呼吸装置学A(種類・原理・構造)	2	2	必	3	春	傾聴・受信力	クリティカル思考力	◎	○										
LC382D02	人工呼吸装置学B(周辺機器・患者管理)	1	1	必	3	春	傾聴・受信力	クリティカル思考力	◎	○										
LC382D03	人工呼吸装置学実習	1	3	必	3	秋	課題設定力	クリティカル思考力		○										◎
LC379L01	感染防御技術論	1	1	選	3	春	課題設定力	クリティカル思考力	◎	○										
LC322A01	医用機器安全管理学A(医用電気機器、医療ガスの安全管理)	2	2	必	2	秋	傾聴・受信力	クリティカル思考力	◎	○										
LC322A02	医用機器安全管理学B(システム安全・電磁環境)	1	1	必	2	秋	傾聴・受信力	クリティカル思考力	◎	○										
LC322A03	医用機器安全管理学実習	1	3	必	3	春	課題設定力	クリティカル思考力		○										◎
LC423C02	臨床工学実践演習	1	2	必	4	春	傾聴・受信力	クリティカル思考力		○							○			◎
LC482E02	臨床実習A(血液浄化療法)	2	6	必	4	春	コミュニケーション力	傾聴・受信力			○						○			◎
LC483C01	臨床実習B(循環器)	1	3	必	4	春	コミュニケーション力	傾聴・受信力			○						○			◎
LC483N01	臨床実習C(呼吸療法)	1	3	必	4	春	コミュニケーション力	傾聴・受信力			○						○			◎
LC423C01	臨床実習D(治療機器・医療機器管理業務)	1	3	必	4	春	コミュニケーション力	傾聴・受信力			○						○			◎
LC423C03	臨床実習E(治療機器・医療機器管理業務)	1	3	必	4	春	コミュニケーション力	傾聴・受信力			○						○			◎
LC223A04	ME技術演習	1	2	必	2	春	調査・情報収集力	自己理解力		○			◎							
LC482A01	総合基礎医学特論	2	4	必	4	通年	課題設定力	クリティカル思考力	◎	○										
LC456C01	総合基礎工学特論	2	4	必	4	通年	課題設定力	クリティカル思考力	◎	○										
LC423A01	臨床工学特論	2	4	必	4	通年	課題設定力	クリティカル思考力	◎	○										
LC423D01	卒業研究	4	8	必	4	通年	課題設定力	クリティカル思考力	◎	○										
							必修◎		0	44	1	0	2	1	0	1	17			
							必修○		3	5	57	5	2	2	9	8	0			
							計		3	49	58	5	4	3	9	9	17			

ディプロマ・ポリシー(DP)																				
①社会で必要とされる知識・技能	②知識・技能を活用する思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける態度	④あてになる人間として実行する姿勢																	
(1) 臨床工学技士に必要とされる、医学・工学・医用工学の知識や技能を修得できる。	(2) 医療人として必要とされる幅広い教養と豊かな感性と人間への深い洞察力、倫理観、生命の尊厳について深く認識する力を修得し、臨床工学の分野から社会に貢献できる。	(1) 患者やチーム医療のスタッフから得られる多くの情報を関連付けて考察し、総合的に問題点を判断できる。	(2) 臨床工学に関する知識や技術の背景を説明ことができ、その知識や技術を医療人として応用できる。	(1) チーム医療のスタッフ、患者やその家族と十分なコミュニケーション力を発揮し、チーム医療の一員としての役割を果たすことができる。	(2) 修得した臨床工学体系を基礎として、臨床工学の役割を正しく語るることができる。	(3) 常に向上心を忘れず、国内外で発展する医療機器とその技術を学び続けることができる。	すべての人に誠意を持って誠実に行動し、健康な社会と全人的医療に貢献できる。													
◎			○																	
◎			○																	
◎			○																	
○			◎																	○
◎			○																	
◎			○																	
◎			○																	○
◎			○																	
◎			○																	○
◎			○																	
◎			○																	○
◎			○																	◎
◎			○																	◎
◎			○																	◎
◎			○																	◎
○			○										○			○		◎		
○			○										○			◎				
○			○										○			◎				
○			○										○			◎				
39	1	2	12	2	4	6	6													
16	1	12	34	11	2	0	12													
55	2	14	46	13	6	6	18													

(注)「身につく基礎力」(10つの能力で構成)は、2023年度以前に入学した学部生を対象に設定されたものです。